

展示公開施設の館内環境調査報告

—平成8年度—

佐野 千絵・三浦 定俊

保存科学部は博物館・美術館・資料館などの文化財公開施設で、借用など移動を伴う国指定文化財等の展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術工芸課と協力して行っている。その調査の内容については以前に述べたが¹⁾、平成5年度からは各館ごとに館の規模や施工時期などについて、あらかじめ定まったフォーマットに従って整理をしている。平成5年度～7年度についてはすでに報告したので²⁻⁴⁾、ここでは平成8年度に行った館内環境調査に関して概括する。

集計方法などについては、前報と同じである²⁾。相談件数および相談館数の経時変化、相談館の地域分布、開館時期、借用計画をたてた時期等について図示する(図1～5)。また、平成8年度に報告書を書いた27館の基礎データを表1に記す。

1. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。例年の通り7～8月に集中しているが例年より早く9月には件数が減少した。相談件数総計は、1,056件であった。

相談館の今年の地域分布は一部に偏らず、また特に中国・四国地方の公開施設が増えたことが特徴である(図2)。

表1. 調査館の基礎データ

No.	着工	コンクリート打設	竣工	開館	借用時期	延べ床面積(m ²)	展示面積(m ²)	収蔵庫面積(m ²)	博/美	運営母体
1			1904	1967	1996.10	10,565	2,363	464	博	県
2			1972.9	1972.10	1997.4	2,169	653	150	博	市
3	1957.10		1958.3	1958.6	1996.10	1,359			博	市
4	1968.11	1970.4	1971.3	1971.4	1996.5	12,947	4,182	2,240	博	県
5	1971		1972.2	1978.4	1996.9	4,578	2,016	1,951	美	その他
6	1978.6		1980.3	1980.6	1996.7	3,189	970	103	博	市
7	1982.11		1984.5	1984.7	1996.10	13,099	428		博	市
8	1989.10	1990.10	1991.3	1991.9	1996.10	3,522	1,051	218	美	県
9	1989.11	1990.12	1991.6	1991.11	1996.10	8,000	1,215	374	美	市
10	1990.12	1991.10	1992.1	1993.5	1997.2	2,082	721	268	美	町
11	1990.4	1990.10	1991.6	1991.11	1996.10	1,785	1,010		博	その他
12	1991.11	1992.12	1993.9	1994.3	1996.5	4,558			博	県
13	1991.2	1991.3	1992.3	1992.11	1997.2	4,651	315	53	博	市
14	1991.3		1992.3	1993.4	1996.7	2,780			博	町
15	1991.8		1993.3	1993.6	1996.8	1,983	574	308	博	町
16	1991.8		1994.8	1995.1	1997.1	7,500	1,522	522	美	県
17	1992.12	1993.7	1994.3	1994.4	1996.11	4,764			博	その他
18	1992.12	1995.12	1995.12	1996.10	1997.4	17,700			美	県
19	1992.3	1993.2	1993.12	1994.9	1996.9	5,631	566	342	美	市
20	1992.11	1993.3	1993.8	1993.11	1997.5	770	198		博	市
21	1993.7	1994.3	1994.8	1995.4	1996.8	3,050	485	290	美	その他
22	1993.9	1994.5	1994.10	1994.10	1996.6	907			美	その他
23	1994.1	1994.11	1995.11	1996.7	1996.7	6,251	630	1,203	美	市
24	1994.10	1995.8	1996.3	1996.10	1997.8	4,990	1,164	540	美	県
25	1994.8	1995.5	1995.10	1995.12	1997.4	6,103	1,713	570	博	その他
26	1998.12		1990.10	1990.11	1997.2	1,035	492	57	美	その他
27	1978.12		1980.5	1981.10	1996.8	2,027	130	123	美	市

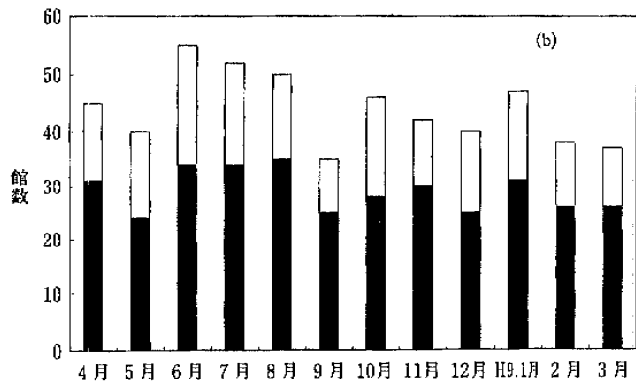
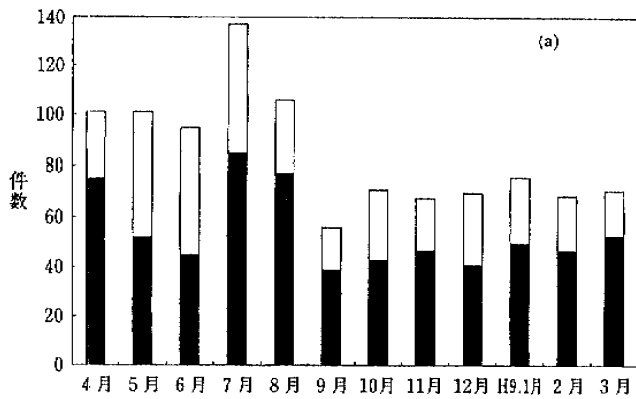


図1. 保存環境に関する相談 (平成8年度)

(a) 相談件数 (b) 相談館数
 □ 美術館 ■ 博物館

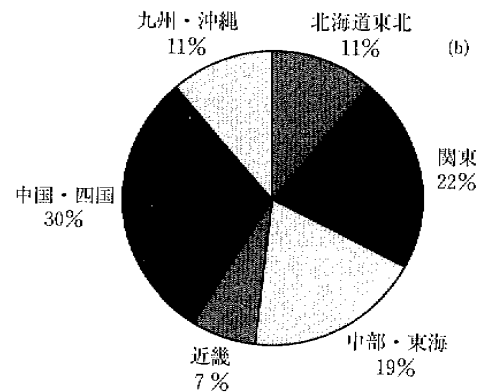
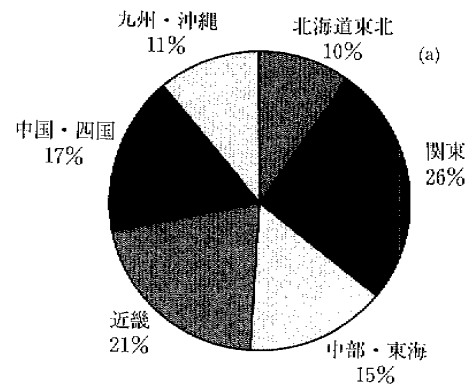


図2. 相談館の地域分布(平成8年度)

(a) 相談館全体の地域分布
 (b) 平成8年度館内環境調査報告書提出館27館の地域分布

2. 平成8年度館内環境調査報告書提出館27カ所の傾向

借用時期は、今年度は開館から1年以上経って施設が安定してから借用する館が多かった。しかし開館後10年以上経った施設の中には当初、公開施設となることを予想して設計されていない館も数多くあり、公開の要件を満たすために施設や設備改修が必要であった館も多かった(図3)。竣工から開館までの期間は、開館後、時間を経た館が多かったため短かく平均5.4ヶ月であった(図4)。

開館時期については、年度末～初めの春と、文化の秋が多かった(図5)。

今年度はコンクリート打設から2年以内の館が4館、3年以内の館が2館と事例が少なく、全体に短めであったため、空気環境調査期間は集計していない。しかし開館時に公開施設として計画されなかった施設については、借用する季節に合わせての調査が必要であり、本来ならば1年以上の調査期間を要すべきと考えている。

コンクリート打設から2年以内に調査を始めた調査事例5館について、空気環境がアルカリ性から中性に落ちついたのは、17ヶ月、21ヶ月、23ヶ月、43ヶ月であり、1館の特殊事例(43ヶ月、原因は不明、寒冷地)を除き、平均して21.3ヶ月であった。

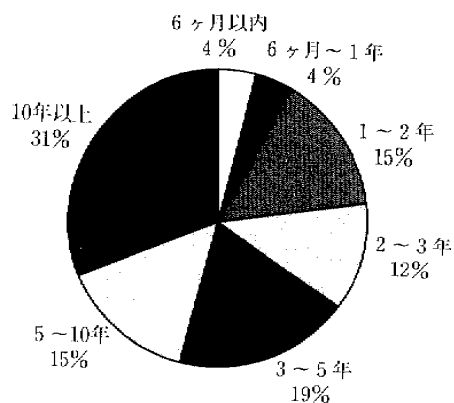


図3. 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの期間

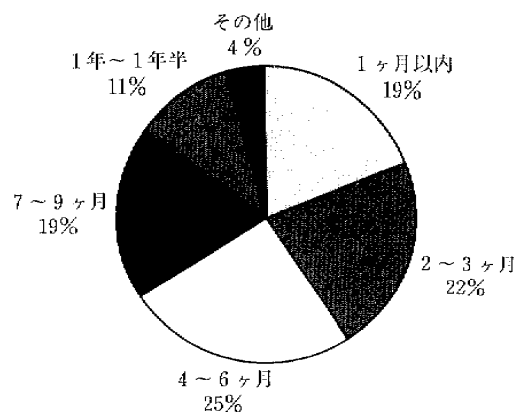


図4. 竣工から開館までの期間

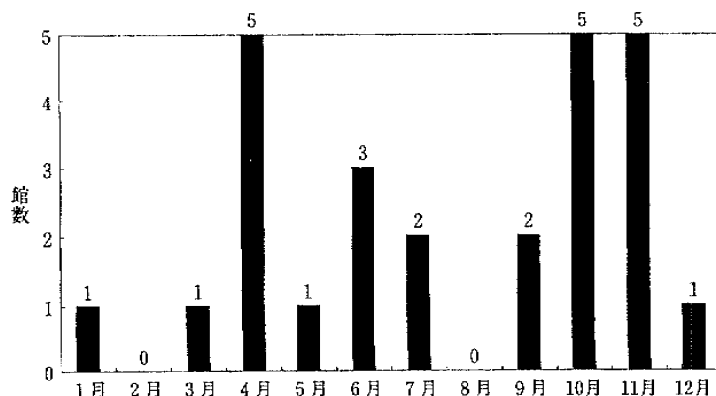


図5. 平成8年度館内環境調査報告書提出館27館の開館月

3. 考察

今年度はいくらか傾向の異なる結果となったが、これは新築事例数が減少していることと関係していると考えられる。経済の伸張に沿った形で平成元年から2年に博物館・美術館の新築・改修を計画する地方公共団体等が多く、そのほとんどが平成6年度末までに建ち上がり、平成7年度春には開館を迎えた。そのため相談件数についても秋の特別展のための相談は例年より少なく、9月には顕著に減少した。また併せて、既存施設での公開を計画する館が増えたため、前述のような結果となったものと考えられる。

既存施設での公開については、当初から公開施設として保存環境等の整備を行っている場合を除き、十分な準備が必要である。公開時期が春から夏にかかる場合、生物の活動が活発でカビや虫の問題が生じやすいということの他に、施設の老朽化に伴う漏水、夏季・冬季に特有の結露現象など、季節にかかわらずその施設特有の問題を抱えている場合が多い。特に温湿度の制御については、時間と予算の制約のために不十分な空調設備で対応せざる得ない場合もあり、公開を計画する事前に1年通して現場の保存環境を確認し、公開に耐える環境をつくり出せるかどうか検討しておく必要がある。

4. 終わりに

当初から公開施設として計画・建設されなかった既存施設で、保存環境の変化に繊細な資料の公開を計画する機会が増えてきている。その場合、保存担当学芸員の役割がますます重要となる。現場の担当者は保存環境を数値としてとらえるだけでなく、日々の仕事の中で自分の目で良く資料を点検し、管理することが望まれる。ぜひ十分な組織・体制で、公開を計画されたい。

引用文献

- 1) 三浦定俊・佐野千絵・石川陸郎：新設博物館・美術館等における保存環境調査の実際，月刊文化財（平成5年4月号），355号，34-42(1993)
- 2) 佐野千絵・三浦定俊：国指定文化財展示公開施設のシーズニングについて—平成5年度展示公開施設の館内環境調査から—，月刊文化財（平成7年9月号），384号，4-11（1995）
- 3) 佐野千絵・三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成6年度—，保存科学，**35**，74-79（1996）
- 4) 佐野千絵・三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成7年度—，保存科学，**36**，98-103（1997）

Annual Report on the Inspection of Museum Environment in 1996

Chie SANO, Sadatoshi MIURA

The Tokyo National Research Institute of Cultural Properties advises museums how they should design their facilities to have an adequate environment for exhibition of nationally designated cultural objects in collaboration with the Agency of Cultural Affairs (Bunka-cho). This report shows the results of inspection in 1996.

Advice was given 1,056 times and the results of inspection were reported to 27 museums in 1996. As the total number of newly-built museums decreased during this year due to stagnant Japanese economy, exhibitions were often planned in old museums built over ten years earlier.